

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20702	
事業名	公共基準点維持管理費						
評価担当課	所属名	建)土木部 管理測量課					
	課長名	園田 博之	担当者名	若山 裕司	電話番号	011-211-2562	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外		
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費					
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理				
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input checked="" type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他	
	目的	短期	私有地、学校や公園敷地を占有し設置した公共基準点について、その土地所有者から、土地利用上の支障などによる移設の要請により行うものである。 公共基準点の状況を把握するため巡視点検を行う。				
		長期	公共基準点や街区基準点の滅失や破損等により使用することを認められない異常個所(以下「故障点」という。)の復元、改測や検測(公共基準点の石標が残っているものの再測量)を行う。				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共基準点の、滅失や破損等により使用することを認められない異常個所(以下「故障点」という。)の復元、改測や検測(公共基準点の石標が残っているものの再測量)を行う。</li> <li>街区基準点の道路工事等で支障となり廃止した点や破損等により使用することを認められない街区基準点の復元、改測を行う。</li> <li>公共基準点の状況を把握するため、巡視点検を行い、故障点が発見された場合には復旧を速やかに行う。</li> </ul>					
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>街区基準点の復旧 街区三角点6点、街区多角点132点</li> <li>公共基準点の復旧 新設2点</li> <li>公共基準点の巡視点検 巡視点検264点</li> </ul>						
事業実施における工夫点	基準点が多ければ測量事業の実施性が向上する反面、復旧・維持管理費用が増大することから、適正な設置数を検討し、復旧・保全点数を抑制している。						
対象者	土地の測量を必要とする市民、地方公共団体			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	国土調査法、不動産登記法、測量法、札幌市公共測量作業規程、札幌市公共基準点の管理に関する要綱、札幌市街区基準点管理保全要綱						
他都市の状況	他都市も本市と同様の維持管理を実施している。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	43,126	43,956	42,145	43,830	
うち特定財源	275	14	23	18	
人工	2.0	2.4	2.4	2.6	
人件費	14,400	17,280	17,280	18,720	
計(事業費+人件費)	57,526	61,236	59,425	62,550	
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>○札幌市街区基準点測量(街区基準点の復元)36,965千円</li> <li>○公共基準点維持管理1,925千円</li> <li>○修繕費3,255千円</li> </ul>			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>○札幌市街区基準点測量(街区基準点の復元)31,930千円</li> <li>○1・2級基準点測量(公共・街区基準点の移点)3,300千円</li> <li>○公共・街区基準点補修500千円</li> <li>○公共基準点維持管理8,100千円</li> </ul>			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	街区基準点の亡失点復旧			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	106点	138点	138点	109点	
活動指標2	指標名	公共基準点の故障点復旧			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	3点	2点	2点	0点	
成果指標1	指標名	街区基準点の亡失点数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	983点	845点	839点	736点	
成果指標2	指標名	公共基準点の点数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	840点	1005点	1005点	1114点	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	街区三角点を6点(残6点)、街区多角点を132点(残839点)を復旧し、札幌市公共基準点として、合計1005点を保全している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	現状のまま復旧を続けていくことにより、街区三角点は、ほぼ全点の復旧が完了し、街区多角点は、残点数が多いものの、復旧の必要性を検討し、優先度の高い点から復旧を進めており、最低限必要な基準点は、令和4年度までに復旧を完了できることから、事業規模は適正である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	基準点の復旧測量は、衛星電波を利用したGNSS測量で行っており、測量成果の精度が非常に高く、作業効率が高い方法で行っている。 また、測量業務は、すべて測量業者への委託(一般競争入札)で実施しており、実施主体は適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	測量には、位置情報が確定している基準点が不可欠であり、基準点の数の多さや密度の高さが、作業の容易さや費用の軽減につながることから、復旧を進めていくことで、測量事業の実施性が向上する。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	常に基準点の状況を把握し、点数や成果の精度を適切に維持することが、測量事業の実施性の保持、維持管理費用の軽減につながることから、効率的かつ正確な管理方法を構築していく。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	亡失の多い街区多角点について、復旧の必要性を検討し、最低限復旧が必要な基準点を抽出した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	復旧を順次進めているものの、最低限復旧が必要な街区多角点がまだ残っていることから、現状のまま復旧を続けていく必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 引き続き街区三角点と街区多角点の復旧を進めていく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 事業を継続的に進めていくためには、令和4年度まで同程度の事業費が必要となる。令和5年度以降は、亡失状況の確認を行いつつ、適正な維持管理を進めていく。		見直し効果額	0